

グローバル・サステナブル・サービス関連株式ファンド (愛称：サブスク)

運用報告書(全体版) 第 1 期

(決算日 2022年 7 月20日)

(作成対象期間 2022年 1 月21日～2022年 7 月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2022年 1 月21日～2027年 1 月20日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンドの受益証券	
	グ ロ ー バ ル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式等（D R（預託証券）および不動産投資信託証券を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式等の中から、サブスクリプション型ビジネスを行なう企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

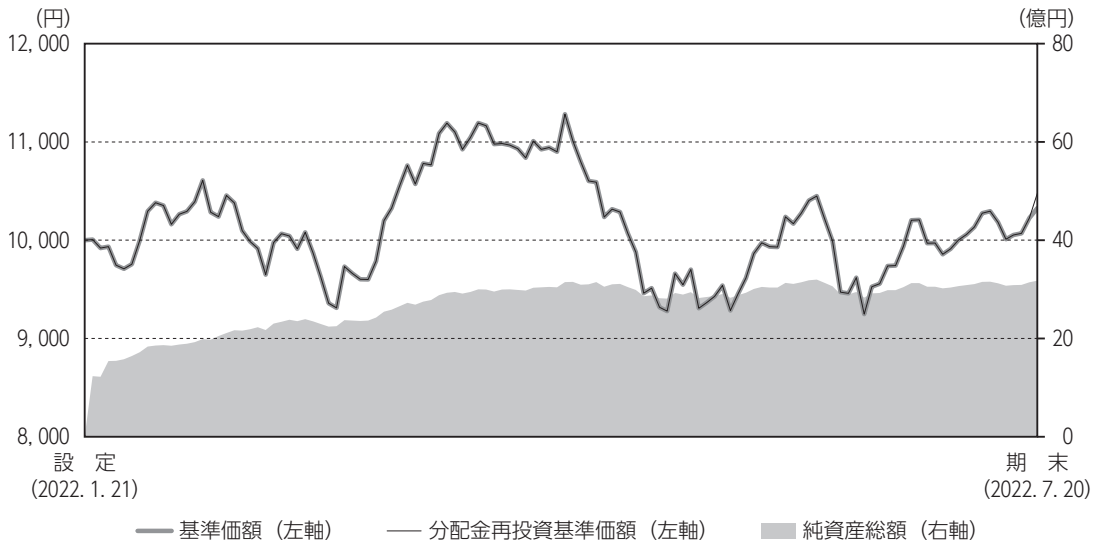
決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
1 期末(2022年 7 月20日)	円 10,325	円 150	% 4.8	10,347	% 3.5	% 98.4	% —	百万円 3,175

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：10,325円（分配金150円）

騰落率：4.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

保有株式は値下がりしたものの、為替相場で米ドル中心に円安が進行したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

グローバル・サステナブル・サービス関連株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2022年 1 月21日	円10,000	%—	10,000	%—	%—	%—
1 月末	9,999	△ 0.0	9,858	△ 1.4	95.9	—
2 月末	10,065	0.7	9,786	△ 2.1	97.8	—
3 月末	11,100	11.0	10,724	7.2	97.0	—
4 月末	10,315	3.2	10,252	2.5	96.4	—
5 月末	9,974	△ 0.3	10,273	2.7	98.7	—
6 月末	9,971	△ 0.3	10,079	0.8	98.3	—
(期末)2022年 7 月20日	10,475	4.8	10,347	3.5	98.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 1. 21 ~ 2022. 7. 20)

■世界株式市況

世界株式市場は下落しました。

世界株式市場は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことなどが懸念され、当作成期首から2022年3月半ばにかけて下落しましたが、F R Bの利上げ決定後は一時的に反発しました。

4月以降は、インフレ率の高止まりにより金利が上昇し景気の先行きに対する懸念が高まったことや、F R Bの利上げペースの加速に対する懸念などから、6月半ばにかけて下落しました。その後は、資源価格の上昇が一服してインフレ懸念が後退したことや、F R Bの利上げ幅縮小への期待などから、当作成期末にかけて株価は反発しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、2022年3月にF R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となり、円安米ドル高が大きく進行しました。4月に入ってから、米国金利が上昇したことなどから、さらに米ドルは上昇しました。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり米ドルは下落（円高）しましたが、6月に米国で大幅な利上げが行われたことなどから、米ドルは再度上昇しました。

ポートフォリオについて

(2022. 1. 21 ~ 2022. 7. 20)

■当ファンド

「グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

■グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド

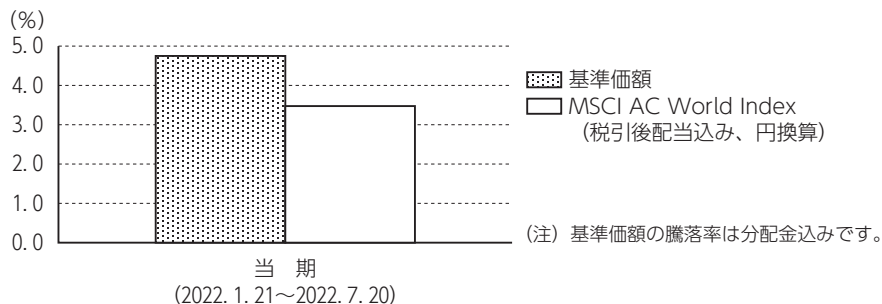
当ファンドは、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に急速に普及し始めている「サブスクリプション型ビジネス」に注目し、サブスクリプション型ビジネスが企業収益の増加に大きく寄与すると見込まれる企業に投資を行います。また、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けております。

株式組入比率は高位を維持しました。銘柄選定にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントは、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄に選別投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年1月21日 ～2022年7月20日	
当期分配金（税込み）	(円)	150
対基準価額比率	(%)	1.43
当期の収益	(円)	150
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	325

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 28.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 301.56
(c) 収益調整金	145.45
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	475.15
(f) 分配金	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	325.15

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド」の受益証券を通じて、世界の株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいことや、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および1人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のW i n - W i n の関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 1. 21～2022. 7. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	92円	0.911%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,137円です。
(投 信 会 社)	(53)	(0.518)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	11	0.111	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.111)	
有価証券取引税	3	0.032	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.032)	
そ の 他 費 用	3	0.025	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	109	1.080	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

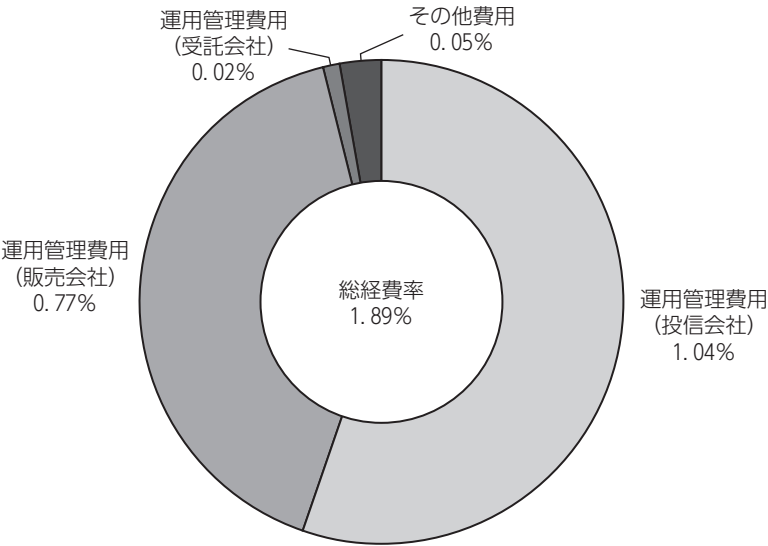
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年 1月21日から2022年 7月20日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド	3, 056, 383	3, 104, 000	64, 381	65, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年 1月21日から2022年 7月20日まで)

項 目	当 期
	グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3, 837, 147千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2, 634, 752千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1. 45

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2022年 1月21日から2022年 7月20日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A			売付額等 C		
区分	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	3, 441	15	0. 4	395	—	—
為替予約	3, 677	—	—	779	—	—
コール・ローン	6, 936	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合100. 0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2022年 1月21日から2022年 7月20日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2, 982千円
うち利害関係人への支払額 (B)	21千円
(B) / (A)	0. 7%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千口	千円
グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド	2, 992, 001	3, 164, 640

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年 7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド	3, 164, 640	97. 5
コール・ローン等、その他	81, 908	2. 5
投資信託財産総額	3, 246, 548	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝138. 17円、1イギリス・ポンド＝166. 01円、100インドネシア・ルピア＝0. 93円、100韓国・ウォン＝10. 60円、1ユーロ＝141. 60円です。
(注 3) グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (3, 020, 282千円) の投資信託財産総額 (3, 164, 669千円) に対する比率は、95. 4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 7 月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3, 246, 548, 833円
コール・ローン等	81, 908, 621
グローバル・サステナブル・サービス 関連株式マザーファンド（評価額）	3, 164, 640, 212
(B) 負債	70, 578, 865
未払収益分配金	46, 139, 296
未払信託報酬	24, 366, 714
その他未払費用	72, 855
(C) 純資産総額（A－B）	3, 175, 969, 968
元本	3, 075, 953, 105
次期繰越損益金	100, 016, 863
(D) 受益権総口数	3, 075, 953, 105口
1 万口当り基準価額（C／D）	10, 325円

* 設定時における元本額は1, 231, 544, 638円、当作成期間中における追加設定元本額は1, 852, 062, 290円、同解約元本額は7, 653, 823円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 325円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 1 月21日 至 2022年 7 月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1, 151円
支払利息	△ 1, 151
(B) 有価証券売買損益	125, 855, 300
売買益	126, 357, 648
売買損	△ 502, 348
(C) 信託報酬等	△ 24, 439, 569
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	101, 414, 580
(E) 追加信託差損益金	44, 741, 579
（配当等相当額）	（ 571, 777）
（売買損益相当額）	（ 44, 169, 802）
(F) 合計（D＋E）	146, 156, 159
(G) 収益分配金	△ 46, 139, 296
次期繰越損益金（F＋G）	100, 016, 863
追加信託差損益金	44, 741, 579
（配当等相当額）	（ 571, 777）
（売買損益相当額）	（ 44, 169, 802）
分配準備積立金	55, 275, 284

（注 1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注 2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注 3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8, 654, 864円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	92, 759, 716
(c) 収益調整金	44, 741, 579
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	146, 156, 159
(f) 分配金	46, 139, 296
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	100, 016, 863
(h) 受益権総口数	3, 075, 953, 105口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	150円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド

運用報告書 第1期（決算日 2022年7月20日）

（作成対象期間 2022年1月21日～2022年7月20日）

グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

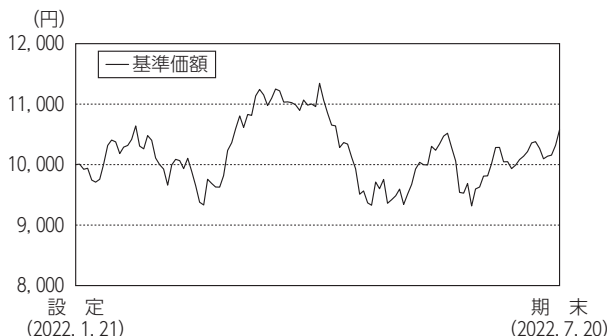
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式等（ＤＲ（預託証券）および不動産投資信託証券を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰落率 %	騰落率 %		%	%
(期首) 2022年 1月21日	10,000	—	10,000	—	—	—
1 月末	10,008	0.1	9,858	△ 1.4	96.4	—
2 月末	10,088	0.9	9,786	△ 2.1	98.1	—
3 月末	11,152	11.5	10,724	7.2	97.1	—
4 月末	10,364	3.6	10,252	2.5	96.5	—
5 月末	10,037	0.4	10,273	2.7	98.5	—
6 月末	10,049	0.5	10,079	0.8	98.0	—
(期末) 2022年 7月20日	10,577	5.8	10,347	3.5	98.8	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：10,577円 騰落率：5.8%

【基準価額の主な変動要因】

保有株式は値下がりしたものの、為替相場で米ドル中心に円安が進行したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市場は下落しました。

世界株式市場は、F R B (米国連邦準備制度理事会) による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことなどが懸念され、当作成期首から2022年3月半ばにかけて下落しましたが、F R B の利上げ決定後は一時的に反発しました。4月以降は、インフレ率の高止まりにより金利が上昇し景気の先行きに対する懸念が高まったことや、F R B の利上げペースの加速に対する懸念などから、6月半ばにかけて下落しました。その後は、資源価格の上昇が一服してインフレ懸念が後退したことや、F R B の利上げ幅縮小への期待などから、当作成期末にかけて株価は反発しました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇 (円安) しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、2022年3月にF R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となり、円安米ドル高が大きく進行しました。4月に入ってから、米国金利が上昇したことなどから、さらに米ドルは上昇しました。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり米ドルは下落 (円高) しましたが、6月に米国で大幅な利上げが行われたことなどから、米ドルは再度上昇しました。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に急速に普及し始めている「サブスクリプション型ビジネス」に注目し、サブスクリプション型ビジネスが企業収益の増加に大きく寄与すると見込まれる企業に投資を行います。また、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けております。

株式組入比率は高位を維持しました。銘柄選定にあたっては、テーマティクス・アセット・マネジメントは、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄に選別投資を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、テーマティクス・アセット・マネジメントから助言を受けます。

サブスクリプション型ビジネスを行う企業については、引き続き堅調な成長が期待できると考えています。サブスクリプション市場は、消費者の購買行動の変化や技術革新を背景に拡大していることに加え、継続課金型のビジネスモデルであるため将来の収益見通しが立てやすいこと

グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド

や、競争優位性があるためインフレの影響を受けづらいことなどが追い風になると考えています。

サブスクリプションの利用者数および1人当りの月額利用料は、ともに増加傾向にあり、今後もサブスクリプションは消費者と企業のWin-Winの関係を長期的に実現、拡大させる成長テーマです。当ファンドの運用にあたっては、引き続き、サブスクリプション市場の中で競争優位性を有し、中長期的に高い成長が見込まれる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行っていく方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	11円 (11)
有価証券取引税 (株式)	3 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (1)
合 計	17

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式 (2022年 1 月21日から2022年 7 月20日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内		千株 20.2 ()	千円 126,264 ()	千株 —	千円 —
外 国	アメリカ	百株 2,496.2 (53.4)	千アメリカ・ドル 22,258 ()	百株 409.8	千アメリカ・ドル 2,513
	イギリス	百株 1,050 ()	千イギリス・ポンド 1,064 ()	百株 315	千イギリス・ポンド 321
	インドネシア	百株 10,728 ()	千インドネシア・ルピア 4,739,585 ()	百株 —	千インドネシア・ルピア —
	韓国	百株 49 ()	千韓国・ウォン 326,279 ()	百株 —	千韓国・ウォン —
	ユーロ (オランダ)	百株 401.5 ()	千ユーロ 2,149 ()	百株 9	千ユーロ 33
	ユーロ (ドイツ)	百株 210.5 ()	千ユーロ 1,106 ()	百株 28	千ユーロ 133
国	ユーロ (ユーロ圏)	百株 612 ()	千ユーロ 3,255 ()	百株 37	千ユーロ 167

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式 (2022年 1 月21日から2022年 7 月20日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
MSCI INC (アメリカ)	2.3	133,606	58,089	ANAPLAN INC (アメリカ)	6.8	54,133	7,960
COSTCO WHOLESALE CORP (アメリカ)	2.14	126,313	59,025	HOMESERVE PLC (イギリス)	25.2	47,000	1,865
INTUIT INC (アメリカ)	2.1	125,527	59,775	COSTAR GROUP INC (アメリカ)	5.3	39,453	7,444
NASDAQ INC (アメリカ)	5.7	117,868	20,678	MATCH GROUP INC (アメリカ)	3.4	32,226	9,478
WOLTERS KLUWER (オランダ)	9.75	114,380	11,731	TELADOC HEALTH INC (アメリカ)	5.1	21,929	4,299
PLANET FITNESS INC - CL A (アメリカ)	11.32	112,828	9,967	T-MOBILE US INC (アメリカ)	1.15	20,760	18,053
ADOBE INC (アメリカ)	2	112,564	56,282	COSTCO WHOLESALE CORP (アメリカ)	0.28	19,739	70,496
MICROSOFT CORP (アメリカ)	3.19	112,394	35,233	CLARIVATE PLC (ジャージー)	10.5	18,729	1,783
COSTAR GROUP INC (アメリカ)	13.88	108,632	7,826	HUBSPOT INC (アメリカ)	0.4	18,118	45,296
HUBSPOT INC (アメリカ)	1.99	105,063	52,795	RINGCENTRAL INC-CLASS A (アメリカ)	1.04	15,162	14,579

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内株式

銘 柄		当 期 末	
		株 数	評 価 額
		千株	千円
電気機器 (67.1%) ソニーグループ		7.3	87,162
精密機器 (32.9%) メニコン		12.9	42,763
合 計	株 数、 金 額	20.2	129,925
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄	<4.1%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘	柄	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
		百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
ADOBE INC		17.5	678	93,776	情報技術
ESSENTIAL UTILITIES INC		119.5	566	78,313	公益事業
MSCI INC		21	894	123,635	金融
NASDAQ INC		57	908	125,475	金融
VAIL RESORTS INC		22.6	513	70,983	一般消費財・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC		17.8	711	98,295	金融
COSTCO WHOLESALE CORP		18.6	967	133,697	生活必需品
ACTIVISION BLIZZARD INC		32	251	34,765	コミュニケーション・サービス
COSTAR GROUP INC		85.8	524	72,469	資本財・サービス
DEXCOM INC		71.2	574	79,331	ヘルスケア
T-MOBILE US INC		67	921	127,307	コミュニケーション・サービス
HEALTH EQUITY INC		93.5	560	77,384	ヘルスケア
CHEGG INC		147	287	39,768	一般消費財・サービス
ATLIASSIAN CORP PLC-CLASS A		20.2	387	53,473	情報技術
GODADDY INC - CLASS A		82	601	83,082	情報技術
PAYCOM SOFTWARE INC		20.9	651	89,950	情報技術
HUBSPOT INC		15.9	450	62,310	情報技術
MATCH GROUP INC		45	317	43,803	コミュニケーション・サービス
ALARM.COM HOLDINGS INC		74	499	69,046	情報技術
PLANET FITNESS INC - CL A		105.2	815	112,737	一般消費財・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A		12	579	80,075	コミュニケーション・サービス
CLARIVATE PLC		357	498	68,909	資本財・サービス
SALESFORCE.COM INC		22.9	398	54,995	情報技術
WALT DISNEY CO/THE		26	258	35,784	コミュニケーション・サービス
DESCARTES SYSTEMS GROUP INC		68	454	62,799	情報技術

グローバル・サステナブル・サービス関連株式マザーファンド

銘 柄		当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
		百株	千アメリカ・ドル	千円	
MEMBERSHIP COLLECTIVE GROUP INC CL		257	176	24,359	一般消費財・サービス
NETFLIX INC		16	322	44,574	コミュニケーション・サービス
BJS WHOLESALE CLUB HOLDINGS INC		38	262	36,201	生活必需品
NEW YORK TIMES CO-A		156.3	478	66,126	コミュニケーション・サービス
MICROSOFT CORP		31.9	827	114,391	情報技術
INTUIT INC		21	848	117,182	情報技術
アメリカ・ドル通貨計	株 数 、 金 額	2,139.8	17,189	2,375,010	
	銘 柄 数 < 比 率 >	31 銘柄		<75.0%>	
		百株	千イギリス・ポンド	千円	
(イギリス)					
HOMESERVE PLC		78	91	15,227	資本財・サービス
AUTO TRADER GROUP PLC		608	358	59,530	コミュニケーション・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		49	376	62,537	金融
イギリス・ポンド通貨計	株 数 、 金 額	735	827	137,296	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3 銘柄		<4.3%>	
		百株	千インドネシア・ルピア	千円	
(インドネシア)					
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK		10,728	4,462,848	41,504	コミュニケーション・サービス
インドネシア・ルピア通貨計	株 数 、 金 額	10,728	4,462,848	41,504	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1 銘柄		<1.3%>	
		百株	千韓国・ウォン	千円	
(韓国)					
COWAY CO LTD		49	310,660	32,929	一般消費財・サービス
韓国・ウォン通貨計	株 数 、 金 額	49	310,660	32,929	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1 銘柄		<1.0%>	
		百株	千ユーロ	千円	
(ユーロ (オランダ))					
BASIC-FIT NV		165	643	91,119	一般消費財・サービス
WOLTERS KLUWER		97.5	969	137,259	資本財・サービス
SIGNIFY NV		130	442	62,660	資本財・サービス
国 小 計	株 数 、 金 額	392.5	2,055	291,039	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3 銘柄		<9.2%>	
		百株	千ユーロ	千円	
(ユーロ (ドイツ))					
SCOUT24 AG		115.5	614	87,040	コミュニケーション・サービス
HELLOFRESH SE		67	221	31,355	生活必需品
国 小 計	株 数 、 金 額	182.5	836	118,395	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2 銘柄		<3.7%>	
ユ ー ロ 通 貨 計	株 数 、 金 額	575	2,891	409,435	
	銘 柄 数 < 比 率 >	5 銘柄		<12.9%>	
フ ァ ン ド 合 計	株 数 、 金 額	14,226.8	—	2,996,176	
	銘 柄 数 < 比 率 >	41 銘柄		<94.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年 7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	3, 126, 101	98. 8
コール・ローン等、その他	38, 568	1. 2
投資信託財産総額	3, 164, 669	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝138. 17円、1イギリス・ポンド＝166. 01円、100インドネシア・ルピア＝0. 93円、100韓国・ウォン＝10. 60円、1ユーロ＝141. 60円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (3, 020, 282千円) の投資信託財産総額 (3, 164, 669千円) に対する比率は、95. 4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 7月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3, 164, 669, 888円
コール・ローン等	38, 393, 200
株式 (評価額)	3, 126, 101, 761
未収配当金	174, 927
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A－B)	3, 164, 669, 888
元本	2, 992, 001, 714
次期繰越損益金	172, 668, 174
(D) 受益権総口数	2, 992, 001, 714口
1万口当り基準価額 (C／D)	10, 577円

* 期首における元本額は1, 218, 000, 000円、当作成期間中における追加設定元本額は1, 838, 383, 648円、同解約元本額は64, 381, 934円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：グローバル・サステナブル・サービス関連株式ファンド 2, 992, 001, 714円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 577円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 1月21日 至 2022年 7月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	11, 199, 695円
受取配当金	11, 178, 152
受取利息	27, 688
その他収益金	673
支払利息	△ 6, 818
(B) 有価証券売買損益	115, 079, 976
売買益	593, 740, 484
売買損	△ 478, 660, 508
(C) その他費用	△ 609, 783
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	125, 669, 888
(E) 解約差損益金	△ 618, 066
(F) 追加信託差損益金	47, 616, 352
(G) 合計 (D＋E＋F)	172, 668, 174
次期繰越損益金 (G)	172, 668, 174

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。